

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第3部門第5区分  
【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公表番号】特表2009-535527(P2009-535527A)  
【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)  
【年通号数】公開・登録公報2009-039  
【出願番号】特願2009-508171(P2009-508171)  
【国際特許分類】  
D 0 1 G 19/26 (2006.01)  
【FI】  
D 0 1 G 19/26

【誤訳訂正書】  
【提出日】平成24年5月17日(2012.5.17)  
【誤訳訂正1】  
【訂正対象書類名】特許請求の範囲  
【訂正対象項目名】全文  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】

コーミング機械の旋回するアングトング(8)に支承された供給ローラ(10)の駆動装置であって、コーミング機械の長さを通して延在する、アングトング(8)の支承軸(7)のわきに定置に支承された駆動軸(15)を有し、該駆動軸(15)の駆動力が、2つのリンク部材から成るリンク伝動装置(18)の少なくとも1つのリンク部材(24, 25)を介して、コームの動きに際して位置を変える各供給ローラ(10)に伝達されることができるとを特徴とする、コーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【請求項2】

駆動軸(15)がコーミング機械のトング装置(1)の近傍に配置されている、請求項1記載のコーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【請求項3】

駆動軸(15)の駆動モータ(16)が、同軸的に駆動軸(15)の上に配置されている、請求項1記載のコーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【請求項4】

1つのリンク部材(24, 25)がフレキシブルな、形状接続的に作用する引っ張り部材(19, 22)を有している、請求項1記載のコーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【請求項5】

1つのリンク部材(24, 25)が歯付きベルト(19, 22)を有している、請求項4記載のコーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【請求項6】

1つのリンク部材(24, 25)が歯車コンビネーション(26/27, 27/28, 29/23)を有している、請求項1記載のコーミング機械の供給ローラの駆動装置。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書  
【訂正対象項目名】0005  
【訂正方法】変更  
【訂正の内容】  
【0005】

本発明の課題は、すべてのコーミング部位の供給ローラを駆動する駆動軸を定置にかつトング装置の支承軸から離して配置し、それでもその駆動力をコームの動きに際して移動する供給ローラに伝達することである。供給ローラは各コームの動きに際して停止と回転運動との間で切り替わるので、供給ローラの低質量も重要な意味を持つ。